

第2回 JR肥薩線復興アクションプラン推進会議

令和7年（2025年）10月30日（木）
13:00～14:00
球磨地域振興局 大会議室

議事次第

1 開会

2 議事

（1）JR肥薩線復興アクションプラン第1期中期計画（案）
及びR7・R8単年度計画（案）について

3 その他

4 閉会

第1回JR肥薩線復興アクションプラン推進会議 出席者一覧

| 機関・所属 | 役職 | 氏名 | 備考 |
|------------|--------|-------|-------------------|
| 熊本県 | 企画振興部長 | 富永 隼行 | |
| 九州旅客鉄道株式会社 | 地域戦略部長 | 上符 友則 | |
| 八代市 | 副市長 | 平井 宏英 | |
| 人吉市 | 副市長 | 溝口 尚也 | 代理出席:復興政策部長 田副 勝裕 |
| 芦北町 | 副町長 | 松本 俊造 | 代理出席:企画財政課長 田代 忍 |
| 錦町 | 副町長 | 深水 英雄 | |
| 多良木町 | 副町長 | 岡本 雅博 | |
| 湯前町 | 副町長 | 清藤 浩文 | |
| 水上村 | 総務課長 | 田代 浩章 | |
| 相良村 | 総務課長 | 川邊 俊二 | |
| 五木村 | 総務課長 | 竹村 文秀 | |
| 山江村 | 総務課長 | 蕨野 昭憲 | |
| 球磨村 | 副村長 | 上部 宏 | |
| あさぎり町 | 副町長 | 土肥 克也 | |

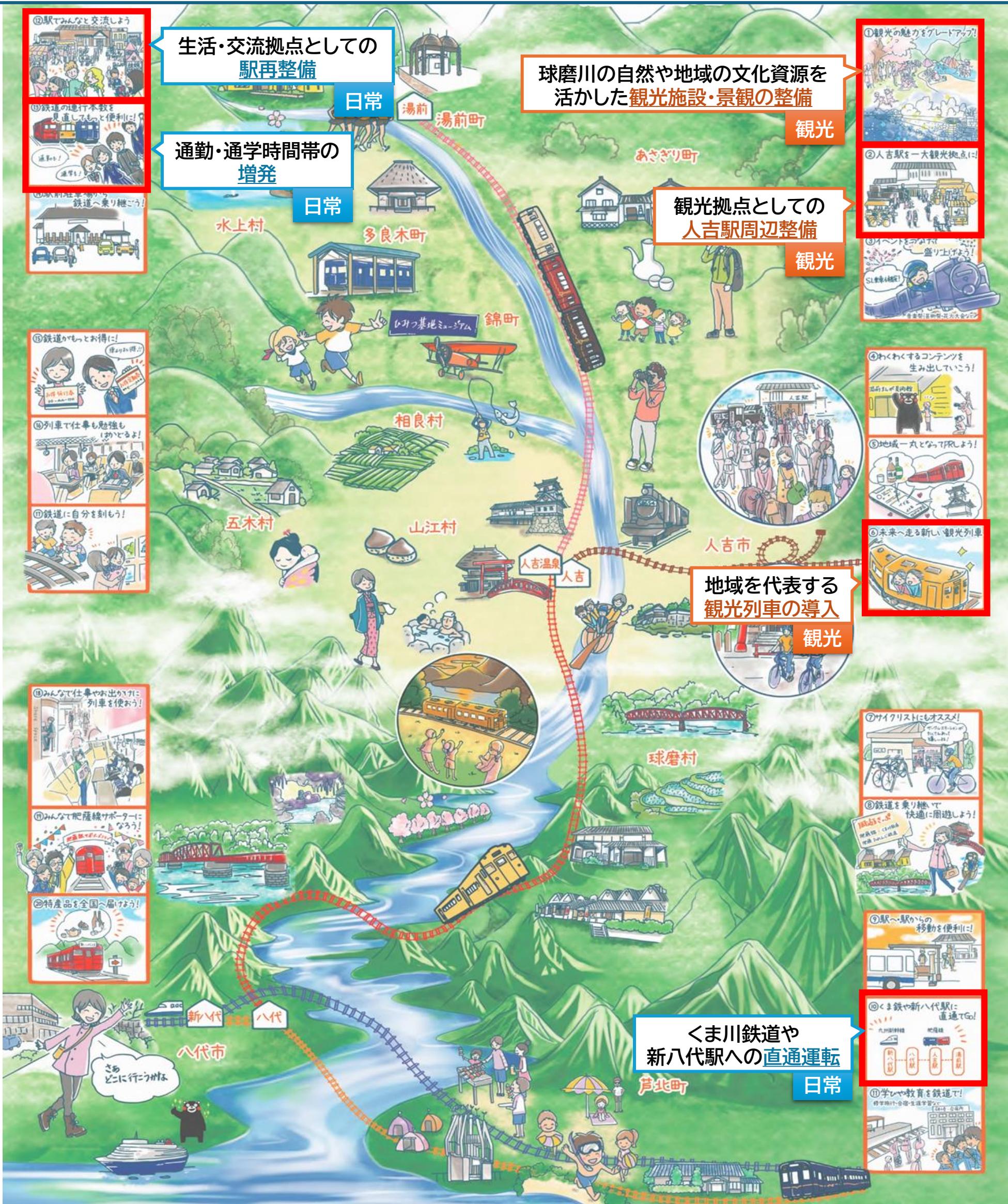
【アドバイザー】

| | | | |
|--------------|-----------------|--------|-------|
| 国土交通省九州地方整備局 | 八代復興事務所副所長 | 岩熊 真一 | |
| | 八代復興事務所工務第一課長 | 荒木 元子 | |
| | 八代河川国道事務所長 | 飯島 直己 | |
| | 八代河川国道事務所事業対策課長 | 北崎 芳憲 | |
| 国土交通省九州運輸局 | 交通政策部交通企画課長 | 小堀 まりり | WEB参加 |
| | 観光部観光企画課長 | 山下 義隆 | |
| | 鉄道部計画課長 | 井料 達己 | |
| | 熊本支局首席運輸企画専門官 | 椎葉 幸博 | |
| | | | |

【事務局】

| | | | |
|----------|------------|--------|--|
| 熊本県企画振興部 | 交通政策・統計局長 | 坂本 弘道 | |
| | 交通政策課長 | 牧野 記大 | |
| | 交通政策課 課長補佐 | 松田 英生 | |
| | 交通政策課 課長補佐 | 崎田 雄一郎 | |
| | 交通政策課 参事 | 田村 あかり | |
| | 交通政策課 主事 | 桑島 康生 | |

- ◆ 「JR肥薩線復興アクションプラン」においては、肥薩線の利活用推進を図るべく、「観光利用」及び「日常利用」の観点から20の具体施策と復旧時の数値目標等を記載。
- ◆ 第1期にあたる最初の2年間(R7,R8)においては、このうち早期に着手する必要のある以下の6つの重点施策の着実な推進を図る方針。



JR肥薩線復興アクションプラン 中期計画・単年度計画について

JR肥薩線復興アクションプラン中期計画及びR7・R8単年度計画（案）の概要について

- アクションプランで定められた目指すべき地域の姿をもとに、中期計画・単年度計画を策定
- 最初の2年間となる第1期では、重点施策の確実な推進と今後の施策展開に必要な準備（課題整理・体制構築等）に取組む
- R7/R8単年度計画については、重点施策に絞って実施事項を整理、施策を推進
- 他施策は「できることから実行する」の考え方のもと既存の取組みを着実に実施

【観光利用施策】

第1期重点施策

球磨川の自然や地域の文化資源を活かした観光施設・景観の整備

観光の拠点としての人吉駅周辺整備

地域を代表する観光列車の導入

その他の施策

県や市町村等が実施する既存事業を着実に推進

第1期で目指す姿（中期計画）

- 各市町村計画と肥薩線との連携事項が整理されている
- 肥薩線ピュースポットの候補地選定・基本設計に向けた準備に着手する
- 官民連携手法が整理されている

- 整備内容・規模について関連計画と連動して検討されている
- 初期費用負担の軽減等について整理されている
- 土地・建物の所有権等について整理されている

- 地域を代表する観光列車のあり方を詳細化できている
- 車両の新造(又は改造)に係るスケジュールが明確化されている
- 費用負担スキームが詳細化されている

- 各市町村で既に取組んでいることを継続して実施し、肥薩線周辺地域の魅力向上や観光客の増加を促進する

具体的な取組み例（単年度計画）

R7
実施

- ピュースポット候補地の整理・検討
- 選定された候補地から駅までの動線確認

- 人吉駅周辺整備の内容協議
- 土地・建物の権利関係を協議
- SL人吉動態化の内容詳細化

- コンセプト案の企画・絞り込み
- スケジュールの詳細化
- 費用負担スキームの検討

R8
実施

- 広域連携の考え方、連携事項等を整理
- ピュースポット基本設計への準備

- 駅や周辺整備における国補助等の活用検討
- 土地・建物の権利関係を協議

- 観光列車のコンセプト詳細化
- 費用負担スキームの検討・関係者合意

- 各市町村における花火大会やマンガ・アニメ等と連携した既存イベントの実施
- その他県や各市町村等における既存の観光振興事業の実施

JR肥薩線復興アクションプラン中期計画及びR7・R8単年度計画（案）の概要について

- アクションプランで定められた目指すべき地域の姿をもとに、中期計画・単年度計画を策定
- 最初の2年間となる第1期では、重点施策の確実な推進と今後の施策展開に必要な準備（課題整理・体制構築等）に取組む
- R7/R8単年度計画については、**重点施策に絞って実施事項を整理、施策を推進**
- 併せて肥薩線周辺地域における二次交通整備の取組みについても推進

【日常利用施策・基盤整備】

第1期重点施策

くま川鉄道や新八代駅
への直通運転

生活・交流拠点としての
駅再整備

通勤・通学時間帯の
増発

その他の施策

市町村内および広域の
二次交通整備

第1期で目指す姿（中期計画）

- 直通運転ダイヤの検討の前段として、被災前の肥薩線利用実態・くま川鉄道の利用実態が整理されている
- 住民や観光客のアンケートを通じて、直通運転のニーズが再整理されている

- 新たに整備する施設の具体的な立地、規模、機能について整理されている
- 各駅舎の権利関係について、JR九州と所有権の移転やその時期などの事項について協議が進んでいる

- 被災前における地元住民の通勤・通学実態を調査し、状況が把握できている
- 今後実施予定の実証実験にかかる実証ダイヤについて検討し、課題が整理されている

- 肥薩線周辺地域における広域的な二次交通整備の前段として、各市町村において二次交通整備に向けた取組みが進められている

具体的な取組み例（単年度計画）

R7
実施

- 各駅における被災前の利用状況把握
- 豊肥本線等の事例調査

- 駅立地の検討
- 整備項目（規模・機能）の整理
- 事業スキームの詳細化

- 被災前の通勤・通学利用実態の調査
- 実証ダイヤの検討

R8
実施

- 住民・観光客へのアンケート等によるニーズ調査
- 過去事例を参考とした実施事項の整理

- 概算見積の徴取
- 費用負担スキームの検討
- 整備する駅の権利関係の整理

- 地元住民の移動ニーズ整理
- 実証ダイヤの検討・整理

- 各市町村において既存の二次交通整備施策の推進
- 熊本県地域公共交通計画と連動した二次交通整備に向けた取組みの実施

4 第1期中期計画期間の取組み概要について

- 第1期中期計画・単年度計画のもとでは、「**早期に施策の方向性・課題の整理が必要な施策**」と「**直ちに具体的な取組みに着手できる施策**」を中心に**「第1期重点施策」**として、迅速かつ重点的に取組みを推進

| # | 観光利用施策 | 重点 | 第1期中期計画期間の取組み概要（たたき台） |
|----|-----------------------------------|----|--|
| 1 | 球磨川の自然や地域の文化資源を活かした観光施設・景観の整備 | | 市町村横断での取組み事項の整理、 ピュースポットの基本設計 |
| 2 | 観光の拠点としての人吉駅周辺整備 | | 整備項目の整理 、事業スキーム及び費用の詳細化、SL人吉動態保存 |
| 3 | 音楽祭・芸術祭・花火大会等のイベント開催・PR | | 市町村連携イベントの棚卸し、新たなイベントの企画、 PRの実施 |
| 4 | マンガ、アニメ、地域資源と連携したコンテンツ組成 | | 地域住民との意見交換、起用する媒体の検討、コラボ企画の検討 |
| 5 | 地域の自然、文化施設、産業遺産と連携したPR | | 複数施設連携によるPRの検討、魅力強化施策の検討 |
| 6 | 地域を代表する観光列車の導入 | | コンセプトの詳細化 、 費用・スケジュールの詳細化 、費用負担スキームの検討 |
| 7 | 広域でのサイクルツーリズム拠点整備 | | 新たなイベントの企画、休憩施設・休憩スポットの検討 |
| 8 | 周遊旅行の拡大に向けた環境整備や特徴的な旅行商品・フリーパスの組成 | | 周遊テーマの詳細化、モデルコースの設定、公共交通フリーパスの詳細化 |
| # | 日常利用・基盤整備施策 | 重点 | 第1期中期計画期間の取組み概要（たたき台） |
| 9 | 市町村内および広域の二次交通整備 | | ライドシェア等の導入検討、各地域の地域公共交通計画の見直し |
| 10 | くま川鉄道や新八代駅への直通運転 | | 利用ニーズの取りまとめ 、実施事項の整理 |
| 11 | 地域性を活かした学びの提供と、教育旅行の誘致 | | 教育機関等へのニーズ調査、提供可能なプログラムの整理 |
| 12 | 生活・交流拠点としての駅再整備 | | 整備項目の整理 、概算見積の徴取、事業スキーム及び費用の詳細化 |
| 13 | 通勤・通学時間帯の増発 | | 実証ダイヤの検討 、通勤・通学における移動ニーズの調査・整理 |
| 14 | 自家用車や自転車との連携 | | 駅前駐車場のニーズ調査、利用可能な用地の検討・確認 |
| 15 | 定期利用や遠方へのお出かけに対する利用助成 | | 他地域事例を参考にした検討、補助対象の整理 |
| 16 | 駅や列車の仕事拠点・学習拠点としての活用 | | 企業へのアンケート調査、通信環境改善方法の検討、整備駅の選定 |
| 17 | 住民が鉄道に親しむ仕組みづくり | | 県立高校と連携したイベントや住民ワークショップ等準備が整ったものから順次実施 |
| 18 | 自治体職員等の率先した鉄道利用の実施 | | 業務利用における課題の整理 |
| 19 | 長期間にわたる「繋がり」を生み出す仕組みづくり | | クラウドファンディング等の仕組みの詳細化 、 サポートーズクラブの運営 |
| 20 | 地域の特産品を鉄道で輸送し、魅力をPR | | 特産品の掘り起こし、輸送方法の検討、物産展イベントの開催 |

直ちに着手できないものの早期に方向性・課題の整理が必要な事業
直ちに着手できる事業

JR肥薩線復興アクションプラン 第1期中期計画 (案)

JR肥薩線復興アクションプラン推進会議
観光利用施策推進部会

1 球磨川の自然や地域の文化資源を活かした観光施設・景観の整備

2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 人吉・球磨地域の観光拠点となる人吉市街地では、青井阿蘇神社の参道整備、球磨川沿いの川床整備、中川原公園の整備等を一体的に推進し、「歩いて楽しめるまち」が形成されている
- 球磨村では、球磨川・鍾乳洞・温泉・棚田等の観光資源を活かした「エメラルドロード」沿いの観光コンテンツが整備されている
- 球磨川の支流である川辺川沿いでは、水辺のキャンプ施設、川遊び施設、森林体験施設等が一体的に整備されている
- 球磨川第一橋梁付近を候補地として、「肥薩線ビュースポット」を整備し、球磨川の自然を背景に列車が走行する姿が地域の代表的な観光コンテンツに発展している
- 球磨川流域に点在する自然観光施設や文化施設等の一体的なPRが行われている



2026年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 各市町村の計画へ肥薩線復旧に向けた連携事項が盛り込まれている
- 肥薩線ビュースポットの整備にあたって、候補地が選定され、復旧工事と一体となった基本設計に向けた準備ができている
- 官民連携の手法について、整理されている



各年度の実施事項

| 実施項目 | 実施主体 | 2025年度 | 2026年度 |
|--------------------|------------|------------------------|----------------------------|
| 各市町村における観光施設・景観の整備 | 市町村、県 | ・ 各市町村の計画に沿って整備を実施 | ・ 各市町村の計画に沿って整備を実施 |
| 市町村横断での取組事項の整理 | 県、市町村、DMO等 | | ・ 連携事項の精査 ・ 計画への記載案作成 |
| 各市町村構想・計画の具体化 | 市町村 | | ・ 官民連携手法の検討（PPP/PFI等） |
| 肥薩線ビュースポットの基本設計 | 県、JR | ・ 候補地の検討 ・ 駅からの動線確認 | ・ 駅からの動線確認 ・ 基本設計に向けた準備 |

2 観光の拠点としての人吉駅周辺整備

2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 人吉駅舎および駅周辺での飲食・商業・学習施設や宿泊施設等の整備を進め、地域の観光・生活・交流拠点に発展している
- 人吉駅前に展示中のSL人吉は、九州唯一の動態保存を実施した上で、博物館の建設や体験乗車の提供等も行い、既設の「人吉鉄道ミュージアムMOZOWAステーション868」と連携した一大観光コンテンツに発展している
- こうした取組を通して、地域を訪れる観光客が人吉駅周辺を目的地とし、さらに交通手段として肥薩線の選択にもつながっている



2026年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 人吉駅舎及び周辺観光施設の整備に向けて、具体的な整備内容や規模について、関係する市町村計画と連動した検討が行われている
- 費用の概算見積を徴取し、復旧工事等との一体的な計画・工事による費用低減や、国補助等の活用などを検討の上、初期投資の整理ができている
- 土地・建物の所有権等の権利関係を確認し、所有権移転の時期等の整理ができている



各年度の実施事項

| 実施項目 | 実施主体 | 2025年度 | 2026年度 |
|----------------------|----------|-----------------|-------------------------------------|
| 駅および駅周辺整備の項目整理、概算見積 | 市町村、県、JR | ・ 整備内容の精査 | ・ 概算見積の徴取 ・ 国補助等の活用検討 |
| 事業スキームおよび費用の詳細化 | 県、市町村、JR | ・ 人吉駅舎の権利関係の整理 | ・ 事業スキームの確認 ・ 復旧後の権利関係の確認 |
| SL人吉動態保存化、博物館等建設の詳細化 | 市町村 | ・ SL人吉動態化の内容詳細化 | ・ SL人吉動態保存の在り方の検討 ・ 博物館等の整備内容の精査 |

6 地域を代表する観光列車の導入

2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 被災前のSL人吉に相当する地域を代表する観光列車として、「球磨川の雄大な自然を堪能」、「地域の魅力との出会い」をテーマとした観光列車を新規に導入し、土休日を中心に1日1往復程度走行している
- 当該列車は、くま川鉄道や肥薩おれんじ鉄道で走行する機会も設け、県南地域一体となった観光振興に活用している
- 被災前の「かわせみ やませみ」、「いさぶろう しんぺい」に相当する観光列車が、人吉～八代～熊本間で1日数往復程度引き続き走行し、観光利用にも日常利用にも活用できる速達列車として利用されている



2026年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 清流・球磨川を軸とした眺望や、地域の特産品やおもてなしも組合せた列車のあり方を詳細化できている
- 車両の新造（又は改造）に係るスケジュールが明確化されている
- 新観光列車の新造（もしくは改造）に係る費用、復旧後の運行に係る費用について、どのような費用負担の考え方とするか、具体的な費用の見積も踏まえた合意形成ができている



各年度の実施事項

| 実施項目 | 実施主体 | 2025年度 | 2026年度 |
|--------------------|----------|--|--|
| 盛り込むコンセプトの詳細化・取捨選択 | 県、市町村、JR | <ul style="list-style-type: none"> ● コンセプト案の企画 ● コンセプト案の絞り込み | <ul style="list-style-type: none"> ● コンセプトの詳細化 |
| 費用規模、スケジュールの詳細化 | JR、県 | <ul style="list-style-type: none"> ● 概算費用の確認 ● 納期等のリードタイムの確認 ● スケジュールの詳細化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 概算見積の徴取 |
| 費用負担スキームの詳細化 | 県、市町村、JR | <ul style="list-style-type: none"> ● 費用負担スキームの検討 | <ul style="list-style-type: none"> ● 費用負担スキームの関係者合意 |

JR肥薩線復興アクションプラン R7/R8単年度計画 (案)

JR肥薩線復興アクションプラン推進会議
観光利用施策推進部会

令和7年度（2025年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

| 実施事項 | 実施主体 | 関連事業 | 予算（千円） |
|------------------------|----------------------------|-------------------------------|---------|
| 各市町村における観光施設・景観の整備 | 人吉市 | 人吉城歴史館の再整備 | - |
| | 八代市 | 広域交流センターさかもと館（道の駅）整備事業 | 15,314 |
| | 相良村 | 川辺川魅力創造事業（交流拠点施設の整備） | 525,615 |
| | | 川辺川流域復興プラン（水辺拠点・ネットワーク整備等） | 30,000 |
| | 山江村 | 栗の駅整備事業 | 34,000 |
| | 球磨村 | 球磨村観光案内所（一勝地駅敷地内案内所の運営） | 6,371 |
| | | 沿線をはじめとする村内の景観整備 | 13,362 |
| | 県 | 球磨川リバーミュージアム構想（地域資源のサイン設置等） | 6,000 |
| 肥薩線ビュースポット候補地の検討 | 県、JR、八代市、球磨村 [WG設置] | 肥薩線ビュースポット候補地の選定 | - |
| 肥薩線ビュースポットにおける駅からの動線確認 | 県、JR、八代市、球磨村 [WG設置] | 選定された肥薩線ビュースポット候補地から駅までの動線を確認 | - |

令和7年度（2025年度）の到達目標

- 各市町村における観光施設・景観の整備が計画に沿って着実に進んでいる
- 肥薩線ビュースポットについて関係者と協議の上、候補地が選定されている
- 駅から肥薩線ビュースポットまでの動線の考え方について整理され、2026年にはビュースポットの基本設計に着手できる状態になっている

予算の欄の「-」は、予算額未定または予算なし

令和8年度（2026年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

| 実施事項 | 実施主体 | 関連事業 | 予算案（千円） |
|----------------------|----------------------------|--|---------|
| 各市町村における観光施設・景観の整備 | 八代市 | 広域交流センターさかもと館（道の駅）整備事業 | 904,750 |
| | 相良村 | 川辺川魅力創造事業（交流拠点施設の整備） | 400,000 |
| | | 川辺川流域復興プラン（水辺拠点・ネットワーク整備等） | 30,000 |
| | 山江村 | 栗の駅整備事業 | 463,826 |
| | 球磨村 | 球磨村観光案内所（一勝地駅敷地内案内所の運営） | 6,371 |
| | | 沿線をはじめとする村内の景観整備 | 13,362 |
| | 県 | 球磨川リバーミュージアム構想（地域資源のサイン設置等） | 6,000 |
| 広域での連携事項に係る計画への記載案作成 | 県、市町村 | 肥薩線を利用する観光客の移動動線の考え方、広域連携の考え方を各市町村の計画へ記載するために、記載案を作成 | - |
| 官民連携手法の検討 | 市町村 | 肥薩線復旧に向けた連携事業を盛り込む計画における官民連携手法を整理 | - |
| 肥薩線ビュースポットの基本設計 | 県、JR、八代市、球磨村 【WG設置】 | 肥薩線ビュースポットの基本設計に向けた準備 | - |

令和8年度（2026年度）の到達目標

- 各市町村における観光施設・景観の整備が計画に沿って着実に進んでいる
- 各市町村の計画へ肥薩線復旧に向けた連携事項が盛り込まれている
- 肥薩線ビュースポットについて復旧工事と一体となった基本設計に向けた準備ができている
- 官民連携手法について整理されている

予算の欄の「-」は、予算額未定または予算なし

令和7年度（2025年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

| 実施事項 | 実施主体 | 関連事業 | 予算（千円） |
|---------------|--------------------|--|--------|
| 整備内容の精査 | 人吉市、県、JR 【WG設置】 | 人吉駅周辺整備の内容についてワーキンググループで議論・協議 | - |
| 人吉駅舎の権利関係の整理 | 県、人吉市、JR | 土地・建物の所有権関係について関係者間で協議 | - |
| SL人吉動態化の内容詳細化 | 人吉市 | 人吉駅周辺公共施設等利活用可能性調査 (駅周辺のゾーニング、SL人吉の格納庫や展示機能の検討) | 18,000 |
| | | SL人吉動態化事業 | 26,500 |

令和7年度（2025年度）の到達目標

- 人吉駅舎及び周辺観光施策の整備に向けて、具体的な整備内容や規模について、関係する市町村計画と連動した検討が行なわれている
- 土地・建物の所有権等の権利関係や所有権移転の時期等に関して関係者間での協議が進んでいる

予算の欄の「-」は、予算額未定または予算なし

令和8年度（2026年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

| 実施事項 | 実施主体 | 関連事業 | 予算案（千円） |
|-----------------------|--------------------|--------------------------|---------|
| 駅及び駅周辺整備の概算見積の徴取 | 人吉市、県、JR 【WG設置】 | 概算見積の徴取 | - |
| 駅及び駅周辺整備における国補助等の活用検討 | 人吉市、県、JR | 国補助等の活用検討 | - |
| 事業スキームの確認 | 県、人吉市、JR | 事業スキームの確認 | - |
| 復旧後の権利関係の確認 | 県、人吉市、JR | 土地・建物の所有権関係について関係者で協議・整理 | - |
| SL人吉動態保存のあり方の検討 | 人吉市 | 人吉駅周辺公共施設等利活用可能性調査 | - |
| | | SL人吉動態化事業 | - |
| 博物館等の整備内容の精査 | 人吉市 | 博物館等の整備内容を精査 | - |

令和8年度（2026年度）の到達目標

- 費用の概算見積を徴取し、復旧工事等との一体的な計画・工事による費用低減や、国補助等の活用などを検討の上、初期投資の整理ができる
- 土地・建物の所有権等の権利関係を確認し、所有権移転の時期等の整理ができる

予算の欄の「-」は、予算額未定または予算なし

令和7年度（2025年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

| 実施事項 | 実施主体 | 関連事業 | 予算（千円） |
|---------------|----------------|--|--------|
| コンセプト案の企画 | 県、市町村、JR | 他事例等を参考に、観光列車のコンセプト案を複数整理 | - |
| コンセプト案の絞り込み | 県、市町村、JR | 複数のコンセプト案をもとに関係者間で協議を行い、コンセプト案を絞り込み | - |
| 概算費用の確認 | JR、県 【WG設置】 | 車両の新造（又は改造）や運行にかかる概算費用を確認 | - |
| 納期等のリードタイムの確認 | JR、県 【WG設置】 | 予算措置のタイミングや工事着手等について、納期等のリードタイムをもとに、スケジュールを詳細化 | - |
| スケジュールの詳細化 | JR、県 【WG設置】 | | - |
| 費用負担スキームの検討 | 県、市町村、JR | 観光列車にかかる費用の負担スキームについて考え方を整理 | - |

令和7年度（2025年度）の到達目標

- 清流・球磨川を軸とした眺望や、地域の特産品やおもてなしも組み合わせた列車のあり方について検討に着手している
- 車両の新造（又は改造）に係るスケジュールが明確化されている
- 新観光列車の新造（もしくは改造）に係る費用、復旧後の運行に係る費用について、どのような費用負担の考え方とするか整理している

予算の欄の「-」は、予算額未定または予算なし

令和8年度（2026年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

| 実施事項 | 実施主体 | 関連事業 | 予算案（千円） |
|----------------|--------------------|--|---------|
| コンセプトの詳細化 | 県、市町村、JR 【WG設置】 | 絞り込んだコンセプトの中身を詳細化し、観光列車のスケールを決定 | - |
| 概算見積の徴取 | JR、県 【WG設置】 | コンセプト等が整理された段階で車両工事の概算見積を徴取し、必要な予算額を確認 | - |
| 費用負担スキームの関係者合意 | 県、市町村、JR 【WG設置】 | 観光列車にかかる費用の負担スキームについて関係者と協議 | - |

令和8年度（2026年度）の到達目標

- 清流・球磨川を軸とした眺望や、地域の特産品やおもてなしも組合せた列車のあり方を詳細化できている
- 新観光列車の新造（もしくは改造）に係る費用、復旧後の運行に係る費用について、どのような費用負担の考え方とするか、具体的な費用の見積も踏まえた合意形成ができている

予算の欄の「-」は、予算額未定または予算なし

③ 音楽祭・芸術祭・花火大会等のイベント開催・PR

(千円)

| 団体名 | 事業名 | R7予算 | R8予算(案) |
|----------------------|-------------------------|--------|---------|
| 人吉市 | 人吉花火大会 | 2,500 | 2,500 |
| 人吉市 | S L 人吉・鉄道フェス | - | 3,500 |
| 人吉球磨地域 観光地域づくり協議会 | 相良三十三観音めぐり | - | - |
| 人吉球磨地域 観光地域づくり協議会 | 人吉球磨のひなまつり | - | - |
| 八代市 | 全国花火競技大会事業 | 41,279 | 41,279 |
| 八代市 | 観光交流事業（城下町「やつしろ」のおひな祭り） | 1,500 | 1,500 |
| 錦町 | 第48回ふるさと祭り | 7,000 | 7,000 |
| 相良村 | サガラッパ祭り | 5,550 | 6,000 |
| 相良村 | さがら産業文化祭 | 10,000 | 10,000 |
| 山江村 | やまえ栗まつり | 7,000 | 7,000 |
| あさぎり町 | 地域イベント補助事業 | 6,400 | - |
| 熊本県 (県南広域本部) | くまもと みなみうまかもんフェスタ | 4,000 | - |
| 熊本県 (球磨地域振興局) | 仮称)人吉球磨日本遺産サイクルイベント事業 | 252 | - |
| くま川鉄道 | 鉄道の日記念「くまでつまつり」 | 300 | 300 |

その他の施策

4 マンガ、アニメ、地域資源と連携したコンテンツ組成

(千円)

| 団体名 | 事業名 | R7予算 | R8予算(案) |
|-------------------|---|--------|---------|
| 熊本県・人吉市 | 夏目友人帳影絵 | - | - |
| 芦北町 | 芦北伽哩街道 | 828 | - |
| 芦北町 | 芦北水俣放課後ていぼう日誌ぶらりメシ | 500 | - |
| 多良木町 | 鉄道マンガ作家による誘客事業 | 1,100 | - |
| 多良木町 | 簡易宿泊施設運営 | 19,514 | 20,000 |
| 湯前町 | ゆのまえ漫画フェスタ | 7,500 | 7,500 |
| 湯前町 | 「レアル・ロマネスク展@湯前まんが美術館」、「これが漫画！展 日本の漫画を創った時代～楽天・隆一・良輔～」 | 6,124 | 10,000 |
| あさぎり町 | あさぎりクエスト | 1,571 | - |
| 熊本県 (球磨川流域復興局) | 球磨川リバーミュージアム構想【再掲】 | 6,000 | 6,000 |
| 熊本県 (球磨地域振興局) | 管内市町村担当者連携会議の立ち上げ | - | - |
| 株式会社 (まもとDMC) | 肥薩線沿線地域資源調査 | - | - |
| くま川鉄道 | アニメ「夏目友人帳」祈念乗車券 | 233 | 233 |

5 地域の自然、文化施設、産業遺産と連携したPR

(千円)

| 団体名 | 事業名 | R7予算 | R8予算(案) |
|-----|-------------------------------|--------|---------|
| 人吉市 | 球磨焼酎・日本遺産人吉球磨インバウンド誘致プロジェクト事業 | 57,500 | - |
| 八代市 | 観光交流事業（八代 妙見祭保存振興会への補助） | 4,500 | 4,500 |
| 水上村 | 水上村観光振興助成事業 | 27,359 | - |

その他の施策

5 地域の自然、文化施設、産業遺産と連携したPR

(千円)

| 団体名 | 事業名 | R7予算 | R8予算(案) |
|-------------------|---|--------|---------|
| 熊本県・人吉市 | デジタルイラストマップによる周遊促進、PR 「人吉・球磨デジタルマップ」 | - | - |
| 熊本県 (球磨川流域復興局) | 球磨川リバーミュージアム構想【再掲】 | 6,000 | 6,000 |
| 熊本県 (球磨地域振興局) | 広域的な観光施策推進に向けた地域おこし協力隊の採用 | 23,114 | - |

7 広域でのサイクルツーリズム拠点整備

(千円)

| 団体名 | 事業名 | R7予算 | R8予算(案) |
|-------------------|---|--------|---------|
| 熊本県・人吉市 | デジタルイラストマップによる周遊促進、PR 「人吉・球磨サイクリングマップ」 | - | - |
| 八代市 | アウトドアツーリズム推進事業 | 414 | 414 |
| あさぎり町 | 自転車走行空間整備事業 | 15,850 | - |
| 熊本県他 (県南広域本部) | くまもと みなみおれんじサイドライド | 4,000 | - |
| 熊本県他 (球磨地域振興局) | 人吉球磨地域自転車ネットワーク計画 | 400 | 400 |

8 周遊旅行の拡大に向けた環境整備や特徴的な旅行商品・フリーパスの組成

(千円)

| 団体名 | 事業名 | R7予算 | R8予算(案) |
|---------|-------------------------------|--------|---------|
| 熊本県・人吉市 | 人吉球磨地域観光復興に係る調査分析 | - | - |
| 錦町 | コンパクトS D G sスタディプログラムプロジェクト事業 | 17,424 | - |
| 多良木町 | 簡易宿泊施設運営【再掲】 | 19,514 | 20,000 |
| くま川鉄道 | どこでもキップ発売 | 100 | 50 |

予算の欄の「-」は、予算額未定または予算なし

JR肥薩線復興アクションプラン 第1期中期計画 (案)

JR肥薩線復興アクションプラン推進会議
日常利用施策・基盤整備推進部会

2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 肥薩線とくま川鉄道が直通運転化することで、肥薩線沿線からくま川鉄道沿線や、くま川鉄道沿線から八代方面への通勤・通学、外出、業務等利用の利便性が向上している
- 肥薩線を新八代駅まで直通運転化することで、肥薩線の新幹線アクセス線としての機能を拡張し、鉄道利用による人吉・球磨地域から熊本・博多・鹿児島・関西方面の利用が増加している
- 遠方から人吉・球磨地域へのアクセス性を向上させることで、入込客数が増加している



2026年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 直通運転ダイヤの検討の前段として、被災前の肥薩線利用実態・くま川鉄道の利用実態が整理されている
- 住民アンケートや観光客アンケートを通じて、直通運転のニーズについて再整理されている



各年度の実施事項

| 実施項目 | 実施主体 | 2025年度 | 2026年度 |
|----------------------------------|-------|--------------------|-------------------------------|
| 各市町村における利用ニーズ等の取りまとめ | 市町村、県 | ・ 各駅における被災前の利用状況調査 | ・ 住民アンケートや観光客アンケート等による利用ニーズ調査 |
| 豊肥本線を参考に実施事項を整理 | 県、市町村 | ・ 豊肥本線の事例調査 | ・ 豊肥本線の事例調査に基づく実施事項の整理 |
| 直通運転のダイヤ検討にあたっての地域住民・観光客の利用ニーズ整理 | 市町村、県 | | ・ 住民アンケートや観光客アンケート等による利用ニーズ調査 |

12 生活・交流拠点としての駅再整備

2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 坂本駅は、駅周辺で整備が進む行政・商業・医療施設、災害公営住宅等の生活・交流施設へ、駅から徒歩で移動できる環境を整え、駅と一体となったまちづくりが進んでいる
- 渡駅は、球磨村復興計画や利用ニーズに沿って、駅再整備を検討する。その他の駅も、復旧工事にあたり最適な駅立地の検討がなされている
- このほか、人吉駅等の一部駅の駅舎内や駅近くで、学習スペースや保育施設等の生活拠点や、カフェ等の交流拠点の整備がなされている



2026年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 新たに整備する施設（八代市、球磨村）の具体的な立地、規模、機能について、仕様の検討に着手している
- 費用の概算見積や施設の仕様を踏まえて、運営の具体的な官民連携手法について、協議が進んでいる
- 初期投資負担の軽減に向けた整理ができている
- 各駅舎の権利関係について、JR九州と所有権の移転やその時期などの事項について整理されている



各年度の実施事項

| 実施項目 | 実施主体 | 2025年度 | 2026年度 |
|---------------------|----------|------------------|-----------------------|
| 各市町村における駅周辺整備 | 各市町村 | ・ 各市町村における駅周辺整備 | ・ 各市町村における駅周辺整備 |
| 駅および駅周辺整備の項目整理、概算見積 | 市町村、県、JR | ・ 整備項目（規模、機能）の整理 | ・ 概算見積の徴取 |
| 事業スキームおよび費用の詳細化 | 県、市町村、JR | ・ 事業スキームの詳細化 | ・ 同上 ・ 費用負担スキームの検討 |
| 駅立地の検討 | 県、市町村、JR | ・ 駅立地の検討 | ・ 整備する駅の権利関係の整理 |

13 通勤・通学時間帯の増発

2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 朝・夕時間帯で増発し、球磨村エリアや人吉市西部在住の住民を中心に肥薩線での通勤・通学利便性が向上している
- テスト期間に臨時ダイヤ設定を行うなど、柔軟な鉄道移動が提供されている

被災前時点のダイヤ

| 下り (人吉方面) | | | |
|--------------|----|----|---|
| 5時 | 6時 | 7時 | ～ |
| ● | ● | | |

| 上り (八代方面) | | | | | | | |
|--------------|-----|---|-----|-----|-----|-----|---|
| 12時 | 13時 | ～ | 17時 | 18時 | 19時 | 20時 | ～ |
| ● | | | | ● | ● | | |



復旧後のダイヤ（例）

（：臨時便）

| 下り (人吉方面) | | | |
|--------------|----|----|---|
| 5時 | 6時 | 7時 | ～ |
| ● | ● | ● | |

| 上り (八代方面) | | | | | | | |
|--------------|-----|---|-----|-----|-----|-----|---|
| 12時 | 13時 | ～ | 17時 | 18時 | 19時 | 20時 | ～ |
| ● | ○ | | ● | ● | ● | ● | |



2026年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 地元住民の通勤・通学実態を調査し、状況が把握できている
- 今後実施予定の実証実験にかかる実証ダイヤが整理されている



各年度の実施事項

| 実施項目 | 実施主体 | 2025年度 | 2026年度 |
|----------------------|----------|--|--|
| 通勤・通学における移動ニーズの調査・整理 | 市町村、県 | <ul style="list-style-type: none"> 被災前の通勤・通学利用実態の調査 | <ul style="list-style-type: none"> 地元住民の移動ニーズ整理 |
| 実証ダイヤの検討 | 県、市町村、JR | <ul style="list-style-type: none"> 実証ダイヤの検討 | <ul style="list-style-type: none"> 実証ダイヤの検討 |

J R 肥薩線復興アクションプラン R7年度/R8年度単年度計画 (案)

J R 肥薩線復興アクションプラン推進会議
日常利用施策・基盤整備推進部会

10 くま川鉄道や新八代駅への直通運転

令和7年度（2025年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

| 実施事項 | 実施主体 | 関連事業 | 予算（千円） |
|------------------|----------------------|-----------------------------------|--------|
| 各駅における被災前の利用状況把握 | 各市町村、くま川鉄道 | JR九州の線区別利用状況等から、被災前の利用状況の把握 | - |
| 豊肥本線の事例調査 | 県、JR、くま川鉄道 【WG設置】 | 豊肥本線と南阿蘇鉄道の乗り入れダイヤ及び利用者数等の利用状況の検討 | - |

令和7年度（2025年度）の到達目標

- 直通運転ダイヤの検討の前段として、被災前の肥薩線利用実態・くま川鉄道の利用実態が整理されている

令和8年度（2026年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

| 実施事項 | 実施主体 | 関連事業 | 予算案（千円） |
|------------------------------|----------------------|---|---------|
| 住民アンケートや観光客アンケート等による利用ニーズ調査 | 各市町村、くま川鉄道 | 復旧後の肥薩線利用ニーズについて、アンケート等により調査を実施 | - |
| 豊肥本線の事例調査に基づく実施事項の整理 | 県、JR、くま川鉄道 【WG設置】 | 豊肥本線と南阿蘇鉄道の事例に基づく実施事項の精査 | - |
| （実施事項が整い次第）運行主体の検討・協議 | 県、JR、くま川鉄道 【WG設置】 | 車両・乗務員の運用、運行管理方法、車両使用料について検討・協議 | - |
| （実施事項が整い次第）くま川鉄道への直通運転ダイヤの検討 | 県、JR、くま川鉄道 【WG設置】 | 利用実態・ニーズ等の調査・整理結果を踏まえた上で、被災前のダイヤをベースとして、関係者間で直通運転ダイヤの検討を進める | - |

令和8年度（2026年度）の到達目標

- 住民アンケートや観光客アンケートを通じて、直通運転のニーズについて再整理されている

12 生活・交流拠点としての駅再整備

令和7年度（2025年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

| 実施事項 | 実施主体 | 関連事業 | 予算（千円） |
|----------------|------------------------|---------------------|---------|
| 各市町村における駅周辺整備 | 人吉市 | 人吉駅前周辺公共施設等利活用可能性調査 | 18,000 |
| | 八代市 | 坂本支所等建設事業 | 928,800 |
| | | 定住促進対策事業 | 5,990 |
| | 湯前町 | 湯前駅レールウイング複合施設再整備事業 | 191,000 |
| | | 渡小跡地周辺の村有地活用 | 40,000 |
| | | 遊水地公園の整備 | - |
| 駅立地の検討 | 県、八代市、球磨村、JR 【WG設置】 | 駅立地の検討 | - |
| 整備項目（規模、機能）の整理 | 八代市、球磨村、県、JR 【WG設置】 | 駅の周辺整備に向けた前提条件の確認 | - |
| 事業スキームの詳細化 | 県、八代市、球磨村、JR 【WG設置】 | 各駅舎の権利関係を確認 | - |

令和7年度（2025年度）の到達目標

- 新たに整備する施設（八代市、球磨村）の具体的な立地について、検討している
- 各駅舎の権利関係について、JR九州と所有権の移転やその時期などの事項について協議が進んでいる

予算の欄の「-」は、予算額未定または予算なし

12 生活・交流拠点としての駅再整備

令和8年度（2026年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

| 実施事項 | 実施主体 | 関連事業 | 予算案（千円） |
|---------------|------------------------|-----------------------|---------|
| 各市町村における駅周辺整備 | 八代市 | 坂本支所等建設事業 | - |
| | | 定住促進対策事業 | 5,990 |
| | 球磨村 | 渡小跡地周辺の村有地活用 | 30,000 |
| | | 遊水地公園の整備 | - |
| 概算見積の徴取 | 県、八代市、球磨村、JR 【WG設置】 | 整備内容を踏まえた概算見積もりを徴取 | - |
| 費用負担スキームの検討 | 八代市、球磨村、県、JR 【WG設置】 | 国庫補助等を活用した費用負担スキームの検討 | - |
| 整備する駅の権利関係の整理 | 県、八代市、球磨村、JR 【WG設置】 | 整備する駅の所有権を確認 | - |

令和8年度（2026年度）の到達目標

- 新たに整備する施設（八代市、球磨村）の具体的な立地、規模、機能について、仕様の検討に着手している
- 費用の概算見積や施設の仕様を踏まえて、運営の具体的な官民連携手法について、協議が進んでいる
- 初期投資負担の軽減に向けた整理ができている
- 各駅舎の権利関係について、JR九州と所有権の移転やその時期などの事項について整理されている

予算の欄の「-」は、予算額未定または予算なし

13 通勤・通学時間帯の増発

令和7年度（2025年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

| 実施事項 | 実施主体 | 関連事業 | 予算（千円） |
|------------------|----------------------|------------------|--------|
| 被災前の通勤・通学利用実態の調査 | 県、JR、くま川鉄道 【WG設置】 | 被災前の通勤・通学利用実態の調査 | - |
| 実証ダイヤの検討 | 県、JR、くま川鉄道 | 実証ダイヤの検討 | - |

令和7年度（2025年度）の到達目標

- ・被災前における地元住民の通勤・通学実態を調査し、状況が把握できている
- ・今後実施予定の実証実験にかかる実証ダイヤについて検討し、課題を整理する

令和8年度（2026年度）単年の実施事項・実施主体・到達目標

| 実施事項 | 実施主体 | 関連事業 | 予算案（千円） |
|--------------|----------------------|--------------------------|---------|
| 地元住民の移動ニーズ整理 | 県、JR、くま川鉄道 【WG設置】 | 復旧後の利用ニーズについてアンケート等により調査 | - |
| 実証ダイヤの検討 | 県、JR、くま川鉄道 | 実証ダイヤの検討 | - |

令和8年度（2026年度）の到達目標

- ・地元住民の通勤・通学実態を調査し、状況が把握できている
- ・今後実施予定の実証実験にかかる実証ダイヤが整理されている

予算の欄の「-」は、予算額未定または予算なし

9 市町村内および広域の二次交通整備

(千円)

| 団体名 | 事業名 | R7予算 | R8予算(案) |
|-------|---|---------|---------|
| 人吉市 | 人吉市予約型乗合タクシー | 19,000 | 19,000 |
| 八代市 | 生活交通確保維持事業 | 114,660 | 114,660 |
| 多良木町 | 多良木町予約制乗合タクシー運行事業 | 14,668 | 14,668 |
| 湯前町 | 湯前町高齢者等移動支援助成事業（福祉タクシー） | 6,270 | 6,270 |
| 山江村 | やまえ乗合バスまるおか号 | 8,520 | 8,520 |
| 球磨村 | コミュニティバス運行 | - | - |
| あさぎり町 | 移動支援事業（デマンド交通） | 20,000 | - |
| 錦町 | 錦町乗合タクシー | 7,803 | |
| 相良村 | 相良村予約型乗合タクシー運行事業 | 4,200 | 4,200 |
| 芦北町 | コミュニティバス、予約型乗合タクシー（運行中） AIオンデマンド交通・公共ライドシェアの検討 | 58,207 | - |
| くま川鉄道 | レンタサイクル事業 | 265 | 265 |

11 地域性を活かした学びの提供と、教育旅行の誘致

(千円)

| 団体名 | 事業名 | R7予算 | R8予算(案) |
|-----|--------------------------------|-------|---------|
| 人吉市 | S L 人吉を使った教育プログラム化プロジェクト（R7年度） | - | - |
| 八代市 | 大規模スポーツ大会等誘致事業 | 7,748 | 7,748 |
| 球磨村 | 災害語り部活動 | 40 | 40 |

14 自家用車や自転車との連携

(千円)

| 団体名 | 事業名 | R7予算 | R8予算(案) |
|-----|---------------------|------|---------|
| 八代市 | 新幹線定期券所有者に対する駐車場の割引 | 歳入減 | 歳入減 |

15 定期利用や遠方へのお出かけに対する利用助成

(千円)

| 団体名 | 事業名 | R7予算 | R8予算(案) |
|------|------------------|--------|---------|
| 多良木町 | 多良木町高等学校等通学費助成事業 | 4,700 | 4,700 |
| 水上村 | 地域公共交通対策事業 | 37,000 | - |
| 湯前町 | 高等学校通学費補助 | 1,567 | 1,567 |

17 住民が鉄道に親しむ仕組みづくり

(千円)

| 団体名 | 事業名 | R7予算 | R8予算(案) |
|-----|---------------------|--------|---------|
| 人吉市 | 人吉駅前周辺公共施設等利活用可能性調査 | 18,000 | - |
| 人吉市 | S L 人吉動態化事業 | 26,500 | - |
| 人吉市 | S L 人吉清掃体験 | 900 | 900 |
| 八代市 | J R 肥薩線復旧を願う除草作業 | | |
| 湯前町 | くま川鉄道を活用した婚活イベント | 945 | |
| 湯前町 | くま鉄に乗ろう！運動 | | 900 |
| 球磨村 | KUMAMURA復興ウォーク | 500 | 500 |

予算の欄の「-」は、予算額未定または予算なし